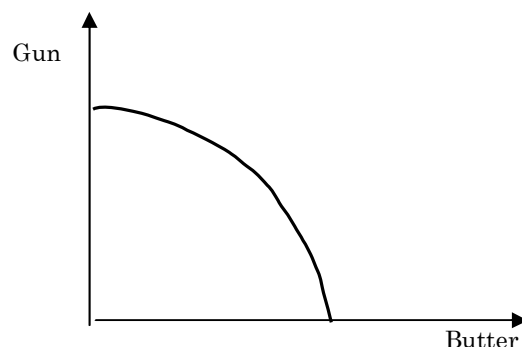


【平成 24 年度・ミクロ経済学 I・課題 2】

☆ 締め切り：平成 24 年 5 月 15 日 講義開始時

【問 1】右の図のようにバター(Butter)と大砲(Gun)の 2 財を生産する生産可能曲線(PPF)与えられている。下の文章が表す点や図を書き入れなさい。

- (ア) 点線で描き入れなさい。点線の PPF は実線の PPF の状態から、経済にあるすべての産業の生産性を向上させる、一般的な技術革新が起こった後の図である。
- (イ) 点 A では、この点で示される雇用の組み合わせは技術革新以降では生産不可能である。
- (ウ) 点 B は、技術革新以前にはすべての資源を雇用している。
- (エ) 点 D では、この経済は雇用されていない資源がある。
- (オ) 点 F では、この経済の投入要素は最も効率よく雇用されているが、生産はバターに特化されている。



【問 2】もっとも単純な（民間部門のみの）経済循環図を作図し、それぞれの経済主体が生産物および投入要素の市場で果たす役割と“お金”の流れについて説明しなさい。

【問 3】以下の表は、生産可能曲線上の生産される食品（B で示す）と武器（W で表す）の 2 財の生産量の組合せを表している。

- トレードオフと機会費用について説明しなさい。
- 表に基づき、生産可能曲線を図に描きなさい。また X を 1 つずつ増やしたときの限界生産高はいくらになるか、表を完成させなさい。
- (2)を用いて、この生産可能曲線が収穫逨減の法則を示しているかどうか判定し、その理由を述べなさい。

B 財の生産量	W 財の生産量	W の限界 生産高
0	15	
1	14.5	
2	13	
3	10.5	
4	7	
5	2.5	
6	-3	